

4D Product Line 2003

インストールガイド
Windows® and Mac™ OS



4D Product Line 2003 インストールガイド

Windows® and Mac™ OS

Copyright© 2003 4D SA

All rights reserved.

このマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更されることがあり、いかなる変更に関しても4D SAは一切の責任を負いかねます。このマニュアルで説明されるソフトウェアは、本製品に同梱のLicense Agreement（使用許諾契約書）のもとでのみ使用することができます。

ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を、ライセンス保持者がこの契約条件を許諾した上での個人使用目的以外に、いかなる目的であれ、電子的、機械的、またどのような形であっても、無断で複製、配布することはできません。

4th Dimension、4D Server、4D、4D ロゴ、およびその他の4D製品の名称は、4D SAの商標または登録商標です。

MicrosoftとWindowsはMicrosoft Corporation社の登録商標です。

Apple、Macintosh、Mac、Power Macintosh、Laser Writer、Image Writer、ResEdit、QuickTimeはApple Computer Inc.の登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

注意

このソフトウェアの使用に際し、本製品に同梱のLicense Agreement（使用許諾契約書）に同意する必要があります。ソフトウェアを使用する前に、License Agreementを注意深くお読みください。

序章	はじめに	5
	4D Product Line	5
	はじめるにあたって	6
	動作環境	6
	パッケージ内容	6
	このマニュアルについて	7
	マニュアルの内容	7
	表記方法について	7
	クイックインストールリファレンス	8
	Windows版	8
	Macintosh版	9
第 1 章	ハードディスクへの製品のインストール	11
	Windows へのインストール	12
	4th Dimension 2003 製品のインストール	12
	ドキュメントのインストールと参照	14
	MacOS へのインストール	14
	4D Product Line 2003 からの製品のインストール	14
	ドキュメントのインストール	17
	ソフトウェアの登録	17
第 2 章	4D 環境へプラグインをインストールする	19
	プラグインの互換性	19
	プラグインのインストール	20
	Win4DX と Mac4DX の配置場所を選択する	21
	アクティブな 4D フォルダの場所	23
	ソフトウェアパッケージにインストールされたプラグインを 変更する	24
	プラットフォームに依存しない 4D Server データベースの環境 設定	25
	Windows における 4D Server の環境設定	26
	MacOS における 4D Server の環境設定	27

第 4 章	ライセンスの更新	3 1
	4th Dimension にシリアル番号を追加する	32
	4D Server にエクспанションシリアル番号を追加する	34

4D Product Line

このマニュアルは、4D Product Lineのインストールとライセンスの更新方法について説明したものです。

4D Product Line 2003は、4th Dimensionと4D Server（WindowsおよびMacOSプラットフォーム上における、スタンドアロンデータベースまたはクライアント/サーバデータベース、インターネット/イントラネット用の開発運用環境）、および4D環境の機能性をさらに高める他のソフトウェアやプラグインから構成されています。このマニュアルの手順によってインストールされるプログラムは、購入したパッケージにより異なります。

各種ソフトウェアまたはプラグインは、ご使用のバージョンに応じてお使いの作業環境にインストールされます。

注：プラグインとは、4th Dimensionや4D Server内にインストールされるソフトウェアのことであり、外部では動作しません。プラグインを使用可能にするには、動作可能になるように4D環境をセットアップしなければなりません（詳細は、第2章の「4D環境へプラグインをインストールする」を参照してください）。

はじめるにあたって

動作環境

インストールを開始する前に、ご使用のハードウェアとソフトウェアのシステム構成が下記の最低必要条件を満たしていることを確認してください。

	Windows	MacOS 9	MacOS X
コンピュータ	Pentium IIプロセッサ搭載の PC互換機	iMac	
OS	Windows 98 SE、Windows Me、 Windows 2000、Windows XP	4D、4D Server、 4D Runtime Classic : バージョン9.2以上 4D Clientその他 バージョン9.1以上 CarbonLibバージョン1.4 (1.5を推奨)	バージョン10.2以上
メモリ	64MB	64MB	128MB
推奨メモリ	Windows 98 SE、Windows Me : 128MB Windows 2000、Windows XP : 256MB	128MB	256MB
画面解像度	800×600ピクセル		

注：4Dデータベースでプラグインを使用する場合は、そのアプリケーション（4th Dimension、4D Client、4D Runtime、実行形式アプリケーション等）に対し、少なくとも2MBのメモリを余分に割り当てる必要があります。この値は、プラグインが問題なく動作するために必要なメモリを概算したもので、データベースで使用するプラグインによって異なります。

パッケージ内容

パッケージには、次のものが含まれます。

- Windows版の4D Product Lineのインストール用CD
- Macintosh版の4D Product Lineのインストール用CD
- 『インストールガイド』マニュアルと『はじめよう4D』マニュアル（印刷物）
- ユーザ登録カード：このカードは、記入後にご返送いただく部分と、今後の参照のためにお手元に保存していただく部分とに分かれています。

このマニュアルについて

このマニュアルは、Windows および macOS プラットフォームを対象として、4D 製品のハードディスクへのインストール方法や 4D 環境のセットアップ方法について説明します。4D 環境とは、クライアント/サーバモードについて説明する場合は 4D Server のことを示し、スタンドアロンモードについて説明する場合は、4th Dimension、4D Runtime および実行形式アプリケーションのことを示します。

このマニュアルで提供する手順や情報は、4D Product Line 2003 のすべての製品に対して適用されます。必要に応じ、特定の製品で違いがある場合は注意でお知らせします。また、プログラムに特定されたインストール情報は、その製品のインストールフォルダにある「はじめに」ファイルに記載されています。

マニュアルの内容

このマニュアルは、次の3つの章から構成されています。

- 第1章「ハードディスクへの製品のインストール」：4D Product Line 2003 をハードディスクへインストールする方法について説明します。
- 第2章「4D 環境へプラグインをインストールする」：4D 環境で使用するプラグインのインストール方法について説明します。
- 第3章「ライセンスの更新」：4D アプリケーションとプラグインのユーザライセンスの更新について説明します。

表記方法について

このマニュアルでは、内容を理解しやすいように表記方法を統一しています。次のような表記が使用されています。

注：このように強調されたテキストは、特殊な事柄を説明する注釈やヒントを提供しません。

4D Server：本マニュアルでは、4th Dimension および 4D Server / 4D Client は、単に 4th Dimension と記載されます。2つの製品の操作の違いは、4D Server の注釈で説明され、4D Server や 4D Client の使用に関する情報を提供します。この情報は、4D Server や 4D Client の操作が 4th Dimension とは異なる場合にのみ提供されます。

このような注意書きは、重要な情報に対する注意を促し、データが失われる可能性のある状況に関して警告しています。

クイックインストールリファレンス

インストールガイドを詳しく読む時間がなく、すぐに製品のインストールを行いたい場合、次の表に記載された手順に従ってください。

Windows 版

標準インストールを実行すると、4th Dimension プロダクトラインのすべてのプログラムとプラグインがハードディスク上にコピーされます。4D 2003 アプリケーションを初めて実行する際に入力するシリアル番号により、お使いのコンピュータ上で使用できるプログラムおよびプラグインが決定します。

インストール対象	インストール手順	参照
4th Dimension 2003	<ul style="list-style-type: none"> CDから4th Dimension 2003をインストールします。 	第1章「ハードディスクへの製品のインストール」
+プラグイン	<ul style="list-style-type: none"> Win4DXフォルダにプラグインファイルをコピーします。このフォルダは、データベースのストラクチャファイルと同じ階層か、4th Dimensionアプリケーションと同じ階層、あるいはコンピュータ上のアクティブな「4D」フォルダ内にあります。 	第2章「4D環境へプラグインをインストールする」
4D Server 2003	<ul style="list-style-type: none"> CDから4D Server 2003をインストールします。 CDから4D Client 2003を各クライアントマシン上にインストールします。Macintosh上に4D Clientをインストールするには、Macintosh版のCDを使用してください。 	第1章「ハードディスクへの製品のインストール」
+追加ライセンス	<ul style="list-style-type: none"> 4D Serverを起動し、「ファイル」メニューから「ライセンス更新...」を選択し、「Expansion番号追加」ボタンをクリックしてエクспанション番号を入力します。 	第3章「ライセンスの更新」
+プラグイン	<ul style="list-style-type: none"> Win4DXフォルダにプラグインファイルをコピーします。このフォルダは、データベースのストラクチャファイルと同じ階層か、4th Dimensionアプリケーションと同じ階層、あるいはコンピュータ上のアクティブな「4D」フォルダ内にあります。 	第1章「ハードディスクへの製品のインストール」、第2章「4D環境へプラグインをインストールする」
+クロスプラットフォーム環境 (Windows およびMacOS)	<ul style="list-style-type: none"> WIN4DX フォルダと同じ階層にあるMac4DXフォルダへMacOS版のプラグインファイルをコピーします。 	第1章「ハードディスクへの製品のインストール」、第2章「4D環境へプラグインをインストールする」
Version 2003 ソフトウェア (4D Insiderなど)	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、CDからソフトウェアをインストールします。 	第1章「ハードディスクへの製品のインストール」

Macintosh 版

4 th Dimension 2003 プロダクトラインのソフトウェアをMacOS上へインストールするには、インストールCDから選択したパッケージのフォルダをドラッグ&ドロップします。

4D 2003 アプリケーションを初めて起動する際は、シリアル番号を入力しなければなりません。

インストール対象	インストール手順	参照
パッケージで利用可能なアプリケーション (スタンドアロン)	・パッケージのフォルダをハードディスクにドラッグ&ドロップします (MacOS X上の「Applications」フォルダへ)。	第1章「ハードディスクへの製品のインストール」
+プラグイン	・パッケージ ¹ で利用可能なプラグインはすべて、アプリケーションから自動的に使用できます。	第2章「4D環境へプラグインをインストールする」
パッケージで利用可能なアプリケーション (4D Server)	・パッケージのフォルダをハードディスクにドラッグ&ドロップします (MacOS X上の「Applications」フォルダへ)。 ・4D Clientアプリケーションフォルダを各クライアントマシンにコピーします。PC上に4D Clientをインストールするには、Windows版CDを使用します。	第1章「ハードディスクへの製品のインストール」
+追加ライセンス	・4D Serverを起動し、「ファイル」メニューから「ライセンス番号更新...」を選択し、「Expansion 番号追加」ボタンをクリックしてエクспанション番号を入力します。	第3章「ライセンスの更新」
+プラグイン	・パッケージ ¹ で利用可能なプラグインはすべて、4D Clientアプリケーションから自動的に使用できます。	第2章「4D環境へプラグインをインストールする」
+クロスプラットフォームフォーム環境 (Windows およびMacOS)	・パッケージで利用可能なWindows版のプラグインはすべて、Windows版の4D Clientアプリケーションから自動的に使用できます。	第2章「4D環境へプラグインをインストールする」

1. 4D ODBC および 4D for Oracle は除く。

この章では、WindowsおよびMacOSの両プラットフォームを対象に、4D Product Lineの製品のインストールおよびアップグレードの手順を説明します。また、4D製品のドキュメントの基本的な使用方法についても説明します。

この章は、2つの節に分かれています。

- Windowsへのインストール：Windows上での4D Product Line製品とドキュメントのインストールについて説明します。
- MacOSへのインストール：MacOS 9およびMacOS X上での4D Product Line製品とドキュメントのインストールについて説明します。
- ソフトウェアの登録：お使いのソフトウェアを4D社に登録する各手順について説明します。

Windows へのインストール

4th Dimension 2003 製品のインストール

この節では、Windows版の4th Dimension 2003 製品をディスク上にインストールする方法について説明します。

▼ Windows上で、4th Dimension 2003 製品をインストールするには、次の手順に従ってください。

1 4D Product Line 2003 CD-ROM をコンピュータに挿入して下さい。

インストールプログラムが開始します。

2 プログラムのソフトウェアライセンス同意書を注意深くお読みになり、ダイアログボックスを確定する。

インストールプログラムより、実行するインストールのタイプを選択するウインドウが表示されます。



■ **すべてをインストール**：これを選択すると、すべての4th Dimension 製品およびドキュメントがインストールされます。

通常は、このオプションをお勧めします。

■ **カスタムインストール**：これを選択すると、階層リストが表示され、インストールする項目を選択することができます。デフォルトでは、いずれの項目も選択されていません。リスト上の項目名をクリックすると、それぞれの項目に関する情報を得ることができます。

特定の4Dアプリケーションや、QuickTime®等のサードパーティのユーティリティプログラムをインストールまたは再インストールしたい場合には、このオプションを使用してください。

■ デモ版：これを選択すると、4th Dimension 製品のデモ版、およびシンプルで高速、かつ専門的なeコマースソリューション、4D Business Kitがインストールされます。

4th Dimension 製品や4D Business Kitを評価したい場合には、このオプションを使用してください（2003年6月現在、4D Business Kitは英語版です）。

3 希望するインストールのタイプを選択し、「OK」をクリックする。

インストールプログラムにより、ファイルをインストールする場所を選択することができます。

4 各ファイルをコピーする場所を指定し、「OK」をクリックする。

インストールが自動的に実行されます。

4Dアプリケーションを初めて起動する場合には、シリアル番号を入力する必要があります。

5 使用したいアプリケーションを起動する：4th Dimensionまたは4D Server

「ソフトウェアライセンス同意書」ダイアログボックスが表示されます。

6 プログラムのソフトウェアライセンス同意書を注意深くお読みになり、ダイアログボックスを確定する。

次のウィンドウが表示されます。

利用者登録

デモを選択するとデモ版が起動します
1テーブル: 50レコードまで
1データベース: 20フォームまで
1データベース: 20メソッドまで

名前

所属

Serial番号

おろの登録

終了 デモ OK

7 ユーザ名、会社名、シリアル番号を入力し、「OK」をクリックする。

シリアル番号が有効であれば、アプリケーションが起動します。このシリアル番号により認可されたプログラムおよびプラグインはすべて、即座に使用可能となります。

ライセンスをさらに追加したい場合は、後述の「ライセンスの更新」の章を参照してください。

ドキュメントのインストールと参照

4Dソフトウェアとプラグインのドキュメントは、Adobe Acrobat™ (PDF) およびHTML形式の電子ドキュメントとして提供されます。「すべてをインストール」オプションを選択した場合には、4th Dimension 製品のドキュメントがディスク上にコピーされます。

マニュアルはすべてPDF形式で提供されますが、主要なリファレンスマニュアルだけはHTML版も提供されています。

PDFドキュメントを参照するためには、お使いのマシン上にAcrobat™ Readerがインストールされていなくてはなりません。このプログラムのインストーラは4th Dimension CDに納められています（「すべてをインストール」オプションを使用するとインストールされます）。

注：また、大部分のソフトウェアおよびプラグインに関して、オンラインヘルプファイルが提供されています（.HLPフォーマット）。これらのファイルはアプリケーションと一緒にインストールされます。

MacOS へのインストール

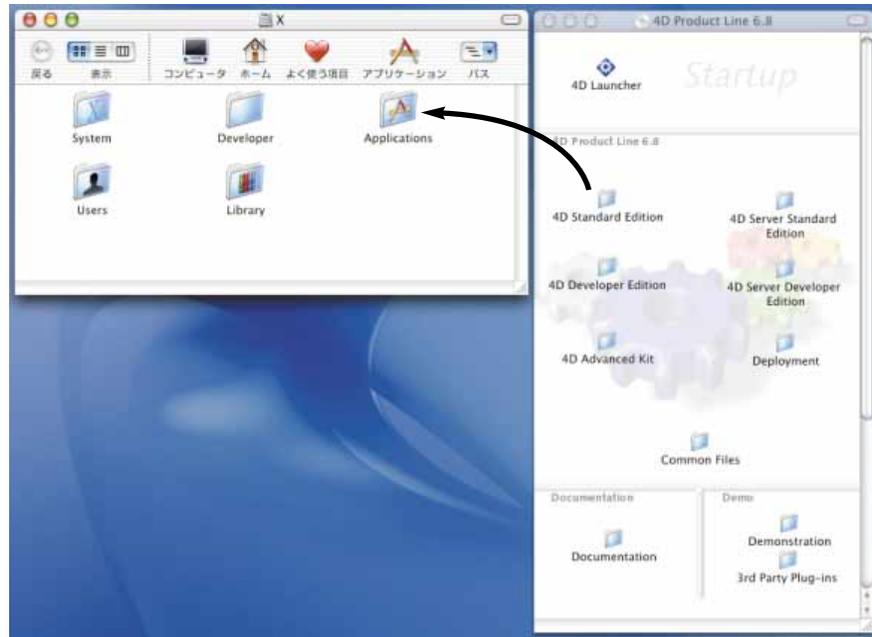
MacOS上で、4th DimensionのCDから製品をインストールするには、インストールCDからハードディスクへ1つ以上のフォルダをドラッグ&ドロップします。

4D Product Line 2003 からの製品のインストール

この節では、4D Product Line 2003で利用可能な製品をインストールする方法について説明します（4th Dimension Standard Edition、4D Server Developer Edition等）。

▼ MacOS上で4D Product Line 2003からプログラムをインストールするには、次の手順に従ってください。

1 CDの内容が表示されているウィンドウより、インストールしたいタイプのフォルダをドラッグし、それをハードディスクにドロップする。



MacOS X上では、メインの「Applications」フォルダ（システムディスクの第一階層）に4Dアプリケーションフォルダをインストールすることを特にお勧めします。これにより、開かれているセッションに関係なく、すべてのユーザが使用できるようになります。

また、そのマシンの“管理者”の権限を持つユーザがインストールを行うようお勧めします。

2 インストールしたい各項目に対してこの手順を繰り返す。

シリアルナンバーは4Dアプリケーションが初めて起動したときに入力されます。

3 ディスク上で、コピーしたフォルダを開き、4Dアプリケーション（4th Dimensionまたは4D Server）をダブルクリックする。

「ソフトウェアライセンス同意書」ダイアログボックスが表示されます。

4 プログラムのソフトウェアライセンス同意書を注意深くお読みになり、ダイアログボックスを確定する。

すると、次のウインドウが表示されます。



5 必要な情報とシリアル番号を入力する。

有効な番号が入力されると、アプリケーションが起動します。このシリアル番号により認可されたプログラムおよびプラグインはすべて即座に使用可能となります。

MacOS X上の注意：MacOS X上の「Classic」環境、またはMacOS 9上にインストールしたシリアル番号付きの4D 2003アプリケーションを起動する必要がある場合、アプリケーションの開始時にシリアル番号を再度入力しなければなりません。

ライセンスをさらに追加したい場合、後述の「ライセンスの更新」の章を参照してください。

プラグインのインストールに関する注意

デフォルトとして、すべてのプラグイン¹は、4th Dimensionまたは4D Serverのソフトウェアパッケージ内にある「Mac4DX」フォルダにプリインストールされます。4D Serverの場合、Windows版のプラグインもソフトウェアパッケージ内にプリインストールされます。

このデフォルトインストールを変更したい場合や、プラグインの追加や削除を行いたい場合には、後述の「Win4DXフォルダとMac4DXフォルダの場所を選択する」の節を参照してください。

注：シリアル番号により使用が許可されない場合、プラグインはデモモードで動作しません。

1.4D ODBC および4D for Oracle は除く。

ドキュメントのインストール

4D ソフトウェアおよびプラグインのドキュメントは、Adobe Acrobat (PDF) と HTML 形式の電子ドキュメントとして提供されます。マニュアルはすべて PDF 形式で提供されません。

ドキュメントは、ハードディスクにインストールしたり、あるいは直接 CD-ROM から参照することができます。

注：また、大部分のソフトウェアおよびプラグインにはオンラインヘルプファイルが用意されています (Apple ビューワーフォーマット)。

アプリケーションと同様に、ドキュメントは CD からハードディスクへドラッグ & ドロップすることによりインストールすることができます。すべてのドキュメントは CD-ROM の「ドキュメント」フォルダに納められています。

ソフトウェアの登録

ソフトウェアを 4D 社に登録すると、インストールやライセンス番号入力に関するテクニカルサポートや 4D 社が提供するサービスを利用することができます。

■ 初めて 4D 製品を購入された際は、4th Dimension パッケージに同梱されている登録カードに記入し、4D 社までご返送ください。返送先はすべて、次のアドレスに掲載されています (<http://www.4D.com/world>)。

注：オンラインでの登録は日本では実施していません。

4D Product Line のプラグインは、ご使用の 4th Dimension および 4D Server 環境に統合されます。データベースでプラグインを使用するには、適切な場所にプラグインをインストールしなければなりません。プラグインの使用方法やお使いのオペレーティングシステムに応じ、さまざまな場所にインストールすることができます。

この章では、次の事柄について説明します。

- 4D 2003 におけるプラグインの互換性
- プラグインのインストール：Windows および MacOS において、プラグインを 4th Dimension および 4D Server 環境にインストールする方法について説明します。
- プラットフォームに依存しない 4D Server データベースの環境設定：このタイプの環境設定に関する重要な情報について説明します。

プラグインの互換性

4th Dimension または 4D Server 2003 では、バージョン 2003 以降の 4D プラグインだけをロードすることができます。

ただし、サードパーティのプラグインに関してはこの限りではなく、バージョンに関わらず、これらのプラグインは 4D 2003 でも正常にロードされます。

注：4th Dimension バージョン 6.8 以降、以前の Macintosh 680xx ベースのプラグインは、4D データベースで使用できなくなりました。

プラグインのインストール

4D環境にプラグインをインストールするには、プラグインファイルを「Win4DX」（Windows版4Dアプリケーション用）または「Mac4DX」（MacOS版4Dアプリケーション用）という名前の特別なフォルダにコピーします。クロスプラットフォームである4D Serverの場合、2つのフォルダを同時に使用します。

これらのフォルダは、さまざまな場所に配置することができます（後述の「Win4DXとMac4DXの配置場所を選択する」の節を参照）。

アプリケーションが起動すると、4Dによりプラグインがロードされます。ファイルをコピーする前に、必ず4Dアプリケーションを終了してください。

■ Windows：インストールが完了すると、プラグインファイルは「Plug-ins」という名前のフォルダ内に配置されます。

使用するプラグインのコピー元ファイルを目的の「Win4DX」フォルダにコピーしてください。



通常、Windowsにおいてプラグインファイルは、プラグイン名.4DX、プラグイン名.RSR、プラグイン名.HLP（オプション）という3つのファイルから構成されます。

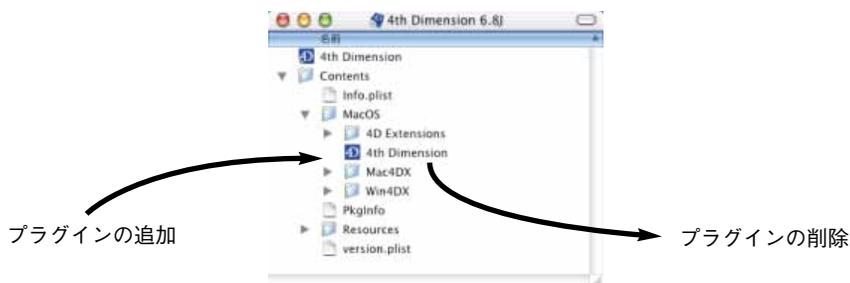
注：項目を（移動するのではなく）コピーするには、Ctrlキーを押しながらそのアイコンをドラッグしてください。

次に、4th Dimensionまたは4D Serverを使用してデータベースを開きます。標準の4Dインストーラを使用してプラグインをハードディスクへインストールした場合、プラグインは直ちに使用可能になります。これ以外の場合、プラグインを使用する前に、シリアル番号（スタンドアロンの4D）またはエクспанション番号（4D Server）を入力しなければなりません。詳細は、後述の「ライセンスの更新」の章を参照してください。

- MacOS：インストールが完了すると、デフォルトでは4Dパッケージに含まれるすべてのプラグインは、4Dアプリケーションと同じ階層にある「Mac4DX」フォルダに配置されます（4D Serverでは「Win4DX」フォルダも存在する可能性があります）。これらのプラグインは、この4Dアプリケーションで開かれる任意のデータベースから利用することができます（後述の節を参照）。

プラグインを削除、またはプラグインを他の場所に配置したい場合は、これらのファイルを移動してください。

注：プラグインのエイリアスを使用することができます。



MacOSにおいて、4Dアプリケーションはソフトウェアパッケージの形で提供されます。プラグインを移動するには、このソフトウェアパッケージの内容を表示しなければなりません。詳細については、後述の「ソフトウェアパッケージにインストールされたプラグインを変更する（MacOS）」の節を参照してください。

Win4DX と Mac4DX の配置場所を選択する

プラグインファイルが納められている「Win4DX」と「Mac4DX」フォルダは、3種類の場所に配置することができます。

- データベースのストラクチャファイルと同じ階層

この場合、フォルダ内のプラグインはこのデータベースでのみ使用できます。

- 実行形式の4Dアプリケーションと同じ階層（Windows）またはソフトウェアパッケージ内（MacOS）

この場合、フォルダ内のプラグインはアプリケーションで開かれたすべてのデータベースから使用できます。

注：MacOS上では、デフォルトとして各パッケージのプラグインはすべてこの位置にインストールされます。

1.4D ODBCと4D for Oracleを除く。

■ マシン上のアクティブな「4D」フォルダ

この場合、フォルダ内のプラグインは、そのマシン上で起動されるすべてのデータベースから使用できます。

注：Windows上では、デフォルトとして4D Internet Commandsプラグインがこのフォルダにインストールされます。

プラグインの用途に応じて、これら3つの場所よりインストール先を選択することができます。

ストラクチャファイルと同じ階層に置かれたプラグインは、アプリケーションと同じ階層にあるプラグインよりも優先されます。また、アプリケーションと同じ階層にあるプラグインは、アクティブな「4D」フォルダ内のプラグインよりも優先されます。この方法により、2箇所に同じプラグインが存在する場合のコンフリクトが回避されています。その場合、ストラクチャファイルと同じ階層に置かれたプラグインだけがロードされません。

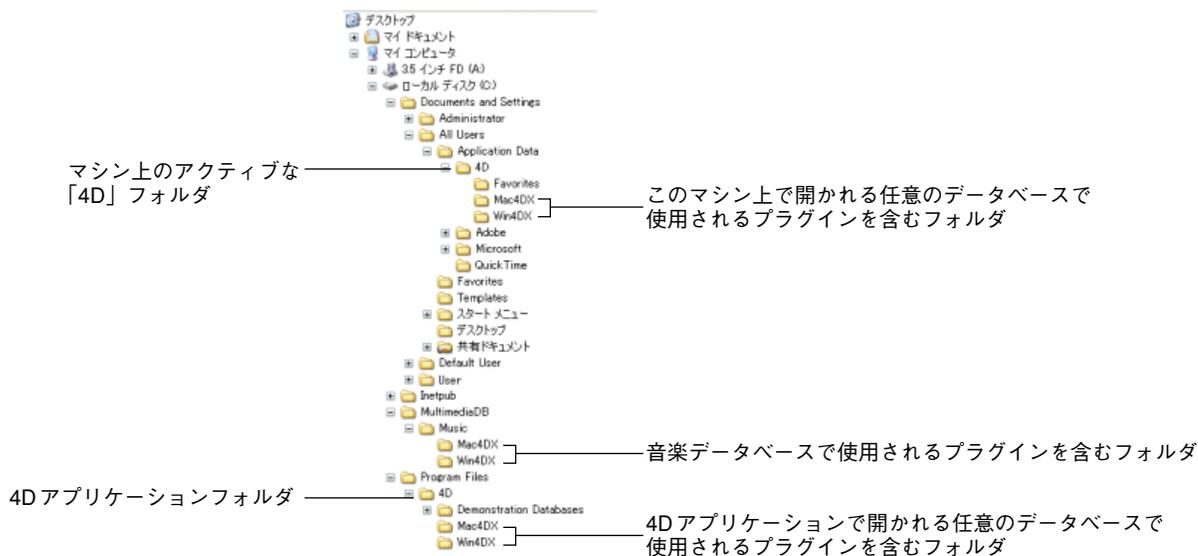
次の表は、4D 2003におけるプラグインの配置可能な場所、ロードの優先順位、およびその有効範囲を示しています。

「Mac4DX」フォルダや「Win4DX」フォルダを配置できる場所	優先順位 ¹	フォルダに格納されたプラグインの有効範囲
データベースストラクチャファイルと同じ階層	1	プラグインはデータベース内でのみ使用可能
4D実行形式ファイルと同じ階層	2	プラグインはアプリケーションで開かれたすべてのデータベースから使用可能
マシン上の「4D」フォルダ内	3	プラグインはマシン上で開かれたすべてのデータベースと4Dアプリケーションから使用可能

ライセンスにより許可されるだけの数のプラグインをコピーすることができ、任意のデータベース内にこれを配置できます。

1.このフォルダの位置は、ご使用のオペレーティングシステムによって変わります。詳細は、後述の「アクティブな4Dフォルダの場所」の節を参照してください。

Windows 上のインストール例



注：「Mac4DX」フォルダは、4D Serverで使用されるクロスプラットフォーム対応のデータベースからのみ使用されます（後述の「プラットフォームに依存しない4D Serverデータベースの環境設定」の節を参照）。

アクティブな 4D フォルダの場所

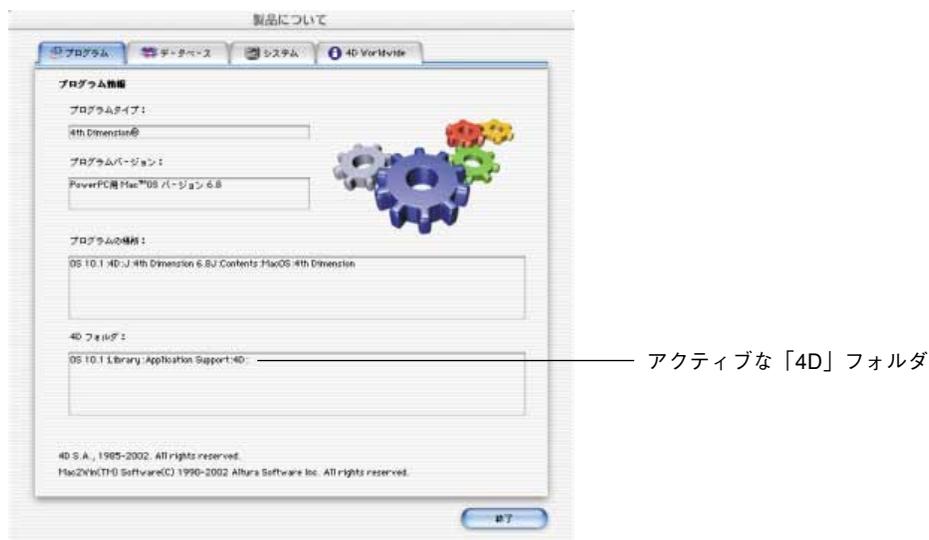
マシン上にあるすべてのデータベースと4Dアプリケーションからプラグインを使用した場合、そのマシン上のアクティブな「4D」フォルダ内に「Mac4DX」や「Win4DX」フォルダを配置しなければなりません。「4D」フォルダには各種初期設定や環境設定ファイルが納められています。

オペレーティングシステムに応じて、「4D」フォルダは以下の場所に作成されます。

OS	場所
MacOS 9	{Disk}:System folder:Application Support:4D
MacOS X	{Disk}:Library:Application Support:4D
Windows 98	{Disk}:¥{System folder}¥All users¥Application Data¥4D
Windows Millenium	
Windows 2000	{Disk}:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥4D
Windows XP	

注：バージョン6.7までの4Dとの互換性を保証するため、4D 2003はまず最初に以前の「4D」フォルダ（「システム」フォルダ内にある）を使用します（存在する場合）。しかし、以前の場所にある「4D」フォルダやその内容は、新しい場所へ移動することをお勧めします。詳細については、『4D 2003アップデート』マニュアルを参照してください。

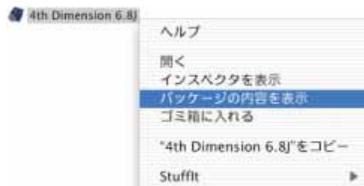
4Dアプリケーションにより現在使用されている「4D」フォルダは、いつでも参照することができます。このフォルダの位置は、「製品について」ダイアログボックスの「プログラム」ページに表示されています（Windows、MacOS X上の4th Dimensionや4D Serverの場合は「ヘルプ」メニュー、MacOS上では「Apple」メニュー）。



ソフトウェアパッケージにインストールされたプラグインを変更する

MacOSにおいて、4D 2003アプリケーションはソフトウェアパッケージの形で提供されます。ソフトウェアパッケージには、アプリケーションが正しく機能するために必要となるすべての要素が1つのフォルダに集められています。通常、ソフトウェアパッケージに納められる要素は、リソース、システム項目、オンラインヘルプ等、および実行形式アプリケーションです。アプリケーションと同じ階層にある「Mac4DX」や「Win4DX」フォルダの内容を変更するには、以下の手順に従ってください。

- 1 「Ctrl」キーを押しながら4Dソフトウェアパッケージアイコンをクリックし、コンテキストメニューから「パッケージの内容を表示する」コマンドを選択する。



一連のフォルダとファイルの形式で、ソフトウェアパッケージの内部構成が表示されます。



- 2 必要に応じて、「Mac4DX」フォルダや「Win4DX」フォルダの内容を変更する。
- 3 (MacOS 9のみ) 「Ctrl」キーを押しながら4Dソフトウェアパッケージアイコンをクリックし、コンテキストメニューから「パッケージの内容を隠す」コマンドを選択する。

プラットフォームに依存しない4D Server データベースの環境設定

4D Server データベースがWindowsとMacOSの4D Clientから使用され、プラグインを使用している場合、すべてのクライアントマシンでプラグインを使用できるようにサーバマシンを設定してはなりません。

マルチユーザ用パッケージ (4D Server) の場合、インストールの際にWindows版とMacOS版 (存在する場合) のプラグインがハードディスク上にコピーされます。

さらに、ハードディスク上に以下のフォルダがあることを確認してください。

- Windowsでは、“¥プラグイン¥プラグイン名¥” ディレクトリに「Win4DX」および「Mac4DX」フォルダ。それぞれ、Windows版とMacOS版 (Windows形式) のプラグインファイルが納められています。

- MacOSでは、“:プラグイン:プラグイン名:” ディレクトリに「Win4DX」および「Mac4DX」フォルダ。Windows版（MacOS形式）とMacOS版のプラグインファイルが納められています。

注：プラグインのなかには、一方のプラットフォームでしか使用できないものがあります。

Windows における 4D Server の環境設定

サーバにWindowsマシンを使用しており、MacOSクライアントからこのサーバへ接続してプラグインを使用できるようにするには、次の操作を行ってください。

Windowsにおいて、MacOSの4D Clientsで使用されるプラグインは、“プラグイン名.4Dx”または“プラグイン名.4CX”、および“プラグイン名.RSR”という2つのファイルから構成されています。拡張子“.4CX”はMacOS X互換のプラグイン（Carbonプラグイン）で使用されます。

▼ MacOSクライアント用にプラグインをインストールするには、次の手順に従ってください。

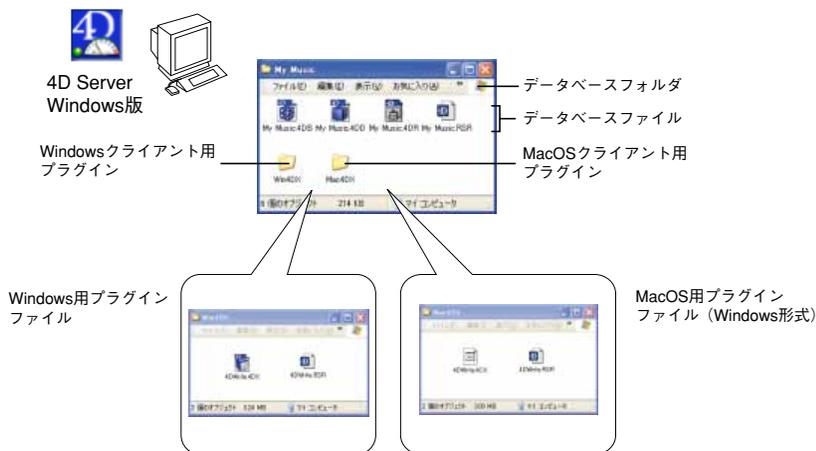
- ・ PC上で、「Mac4DX」フォルダ（MacOS版のプラグインを含む）をデータベースのストラクチャファイルと同じ階層に配置する。

「Mac4DX」フォルダは、「Win4DX」フォルダと同じ階層に配置されることになります。

Windowsにおいて、MacOSの4D Clientで使用されるプラグインは、“プラグイン名.4DX”と“プラグイン名.RSR”という2つのファイルから構成されます。

これで、WindowsとMacOSの両クライアントがデータベースに接続すると、プラグインを使用することができます。

この操作は次の図のようになります。



または、「Mac4DX」フォルダを4D Serverアプリケーションと同じ階層に配置する。

この場合、MacOSおよびWindowsのクライアントがこの4D Serverで開かれた任意のデータベースに接続すると、プラグインは両クライアントから使用できるようになります。

または、「Mac4DX」フォルダをサーバマシン上のアクティブな「4D」フォルダ内に配置する。

4D Serverの設定に関わらず、マシンに接続しているMacOSおよびWindowsのクライアントはプラグインを使用できるようになります。

MacOS における 4D Server の環境設定

サーバにMacintoshを使用しており、Windowsクライアントからサーバへ接続してプラグインを使用できるようにするには、次の操作を行います。

MacOSにおいて、Windowsの4D Clientで使用されるプラグインは、“プラグイン名.4DX”と“プラグイン名.RSR”“プラグイン名.hlp (オプション)”という3つのファイルから構成されています。

▼ Windowsクライアント用にプラグインをインストールするには、次の手順に従ってください。

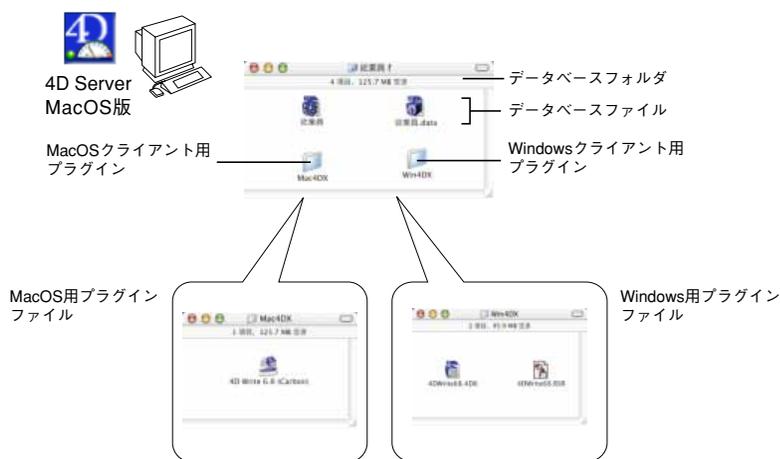
- 1 Macintosh上で、「Win4DX」フォルダ（Windows版のプラグインを含む）をデータベースのストラクチャファイルと同じ階層に配置する。

「Win4DX」フォルダは、「Mac4DX」フォルダと同じ階層に配置されることになります。

MacOSにおいて、Windowsの4D Clientで使用されるプラグインは、“プラグイン名.4DX”と“プラグイン名.RSR”“プラグイン名.hlp（オプション）”の3ファイルから構成されます。

これで、WindowsとMacOSの両クライアントからデータベースに接続すると、プラグインを使用することができます。

この操作は次の図のようになります。



または、「Win4DX」フォルダを4D Serverアプリケーションと同じ階層に配置する。

注：この作業を行うには、ソフトウェアパッケージの内容を表示する必要があります（前述の「ソフトウェアパッケージにインストールされたプラグインを変更する（MacOS）」を参照）。

この場合、WindowsおよびMacOSのクライアントがこの4D Serverで開かれた任意のデータベースに接続すると、プラグインは両クライアントから使用できるようになります。

または、「Win4DX」フォルダをサーバマシン上のアクティブな「4D」フォルダ内に配置する。

4D Serverの設定に関わらず、マシンに接続しているWindowsおよびMacOSのクライアントはプラグインを使用できるようになります。

1. 前述の「アクティブな4Dフォルダの場所」の節を参照してください。

注意

- プラグインを同時に使用できるクライアントマシンの数は、利用可能なライセンス数によって決まります。
- 4Dのパスワードシステムを利用すると、プラグインへのアクセスを制限することができます。
- プラットフォームに依存しない4D Serverに関する詳細は、『4D Server リファレンス』マニュアルを参照してください。

この章では、4th Dimensionまたは4D Serverにおいて、4D Product Line製品のシリアル番号やエクспанション番号を入力する際に必要となる手順について説明します。

インストール作業中にシリアル番号を初めて入力します。つまり、標準の4Dインストーラ（Windowsのみ）の使用時、または4th Dimensionや4D Serverアプリケーションの最初の起動時（前述の「ハードディスクへの製品のインストール」の節を参照）のいずれかです。入力直後にアプリケーションは使用可能になります。

以下の場合には、シリアル番号やエクспанション番号を追加する必要があります。

- 4D Web Extensionや4D Server Web Extensionを入手し、4DアプリケーションのWeb機能を使用したい場合。
- 4D Product Lineのインストーラを使わずにインストールされる新しいプラグインやアプリケーションを使用したい場合。
- 4D Serverやプラグインにユーザライセンスを追加したい場合。

この章は、主に3つの節に分かれています。

■ 4th Dimension（スタンドアロン）にシリアル番号を追加する。

この節では、4D Web Extension、プラグイン、または4Dアプリケーションのシリアル番号を4D環境へ追加する方法について説明します。

■ 4D Serverにエクспанションシリアル番号を追加する。

この節では、4D Server、4D Server Web Extension、またはプラグインのユーザライセンスを4D Server環境へ追加する方法について説明します。

■ コンパイルおよび4D Engineが組み込まれたアプリケーションの配付。

この節では、コンパイルおよび実行形式アプリケーションの配布の条件について説明します。

4D Web Extension について

4DのWeb Server機能は追加機能として提供され、スタンドアロンの4th Dimensionには4D Web Extension、4D Serverには4D Server Web Extensionとライセンスが提供されます。

これらのオプションがインストールされていない場合、4DのWeb Server機能はデモモードになり、最初のHTTPヒットから始めて1時間動作します。

Web Extensionライセンスがインストールされている場合には、ブラウザから無制限にWeb Serverへ接続することができます。

注：MacOS Xにおいて、Webサーバをアクティブにするにはさらに引数を設定する必要があります。詳細については、『4Dランゲージ』マニュアルの「Webサービス：システム設定」の章を参照してください。

4th Dimension にシリアル番号を追加する

▼ Web Extension、新規プラグイン、または新しい4Dアプリケーションのシリアル番号を入力するには、次の手順に従ってください。

1 4th Dimension を起動して、データベースを開く。

特定のデータベースを選択した場合でも、この手順は同じです。

2 「ヘルプ」メニューから「ライセンス更新...」コマンドを選択する。またはCtrl+Shift+F8 (Windows) またはcommand+Shift+F8 (MacOS) を使用する。

すると、ライセンス管理用のダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスには、そのマシンで入力された各シリアル番号と、それに対応するプラグインが表示されます（対応するプラグインがインストールされている場合）。

各製品の隣にある数字は、その製品を同時に使用できるユーザライセンス数を示します。



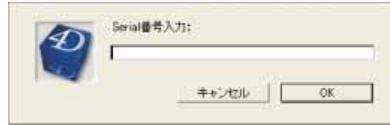
各プラグインやアプリケーションに許可されたライセンス数

「シリアル番号の追加」ボタン

注：スタンドアロンの4Dアプリケーションを使用する場合は、**CHANGE LICENSE** コマンドを使用して、このライセンス管理ダイアログボックスを表示することもできます。詳細は、『4Dランゲージリファレンス』を参照してください。

3 「Serial 番号の追加」 ボタンをクリックする。

シリアル番号入力用のダイアログボックスが表示されます。



4 新しいシリアル番号（4Dより提供される）を入力し、「OK」ボタンをクリックする。

入力された番号が有効であれば、リストに表示されます。

4D Insiderを含むすべてのシリアル番号は、4th Dimensionまたは4D Serverによって管理されます。したがって、このダイアログボックスに新しいアプリケーションのシリアル番号を入力することができます。

MacOS X環境で入力したライセンス番号はClassic環境で起動した4Dアプリケーションには無効です。この場合は、Classic環境でライセンス番号を入力する必要があります。

注：例えば、他のマシンにシリアル番号をインストールしたい場合、「削除」ボタンを使用して、そのマシンからシリアル番号を削除します。

4D Server にエクspansionシリアル番号を追加する

この節では、クライアントやプラグイン、または4D Server Web Extension¹にユーザライセンスを追加するため、エクspansionシリアル番号を入力する方法について説明します。

▼4D Server Web Extension、新しいユーザライセンス、または新規プラグインを4D Serverに追加するには、次の手順に従ってください。

1 4D Server を起動して、データベースを開く。

特定のデータベースを選択した場合でも、この手順は同じです。

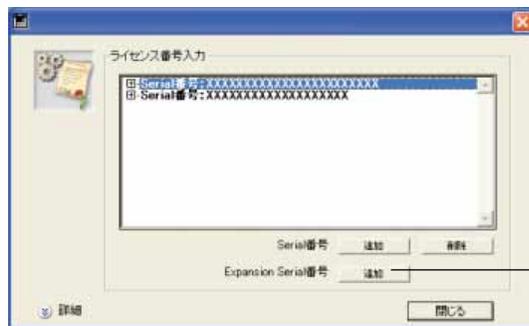
2 4D Serverの「ヘルプ」メニューから「ライセンス更新...」を選択する。



または、Ctrl+Shift+F8 (Windows)、またはcommand+shift+F8 (MacOS) を使用する。

すると、ライセンス管理用のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスは、4D環境へ既に入力されているシリアル番号やエクspansionシリアル番号を表示します。



1. 詳細は、前述の「4D Web Extension について」の項を参照してください。

3 「Expansion Serial 番号の追加」 ボタンをクリックする。

「Expansion Serial 番号の入力」 ダイアログボックスが表示されます。



4 新しいエクспанションシリアル番号（4D より提供される）を入力し、「OK」 ボタンをクリックする。

入力された番号が正しければ、4D Server のエクспанションシリアル番号項目の下にある表示領域に、新しいユーザ数、新規プラグイン、または新しいエクステンションが表示されます。

注：4D Server には以下のものが含まれます。

- ・ 4D Client2 接続
- ・ 4D Backup および 4D Internet Commands のプラグインの接続数は、4D Client の接続数と常に同じ数になります。

これらのデフォルト接続数はすべて、エクспанションシリアル番号の入力を必要としません。

エクспанションシリアル番号に関して、製品の隣に表示される数字は、そのアプリケーションやプラグインを同時に使用できるクライアント数を表わしています。



データベース（またはプラグイン）
へ同時に接続できるユーザ数

注：4D Insider を含むすべてのシリアル番号は、4th Dimension または 4D Server によって管理されます。したがって、このダイアログボックスに新しいソフトウェアのシリアル番号を入力することができます。

MacOS X 環境で入力したライセンス番号は Classic 環境で起動した 4D アプリケーションには無効です。この場合は、Classic 環境でライセンス番号を入力する必要があります。



株式会社フォーディー・ジャパン

154-0012 東京都世田谷区駒沢 1-17-17-4F

Tel 03-5433-3461

Fax 03-5433-3462

<http://www.4d-japan.com/>